

特集『教育を考える』

おしゃべりサロン「相互塾」「数援隊準備会」共同開催

共催:調布市 後援:調布市教育委員会

(第93回) <入場無料>



老いも若きも大歓迎。Face to Faceを大切に！

理科離れと教育

日時:平成19年10月20日(土) 午前10時~12時

場所:文化会館たづくり 8階 映像シアター

講師:畑中喜秋さん 玉川大学講師 元深大寺小学校校長

定員:当日先着 100名

資源の少ない日本は、世界の中で存続していくために、以前から「科学立国」を目指しています。文部科学大臣の毎年の年頭の所感においても理科・科学教育の充実が叫ばれています。ところが、にわたりの足を4本描く大学生が話題になったように、青少年の理科離れが進んでいると言われて久しい。現在、その実態はどのようになっているのでしょうか。

今回は、まず理科離れの実態について、子供たちから成人までの状況を概観します。次にその原因について考えてみたいと思います。さらに、理科離れを解消するための理科教育や行政の施策について、参加者の皆さんとともに考えたいと思います。この中で、自然と科学の関係、理科教育と科学教育の違い、理科における学力とは何を指すのかについても触れてみたいと考えています。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

【終了後昼食会(参加自由、実費千円前後)を行います】

今後も毎年、10月の例会は、「教育を考える」というテーマを取り上げます。何かお気付きのことがありましたら、ご提案ください。



主催:特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先:森下 政信 (TEL&FAX 483-9993)

E-mail mmasanob@sepia.ocn.ne.jp

(ウラへ続く)

特集「教育を考える」を毎年10月のテーマに定着させる

おしゃべりサロン「相互塾」を昨年度から毎年、10月を特集「教育を考える」というテーマにして、例会を開催することにし、市民とともに重要な課題である「教育」について継続的に取り上げ行きたいと考えています。今年度は、発足したばかりの「数援隊(数学支援隊)準備会」との共同開催となりました。

最近の子どもたちの置かれた広い意味での環境は、大きく変化しているように見えます。全国的には、校内暴力が増えているという文部科学省の調査もあり、その原因が、子どもたちがストレスや不満をため込んでいることと、ストレスの暴発を自制する力が弱いこととされています。この調布でも、不登校や養育不安などの悩みを持つ親子さんが居られたり、学校選択制の導入などによる変化への対応など、考えるべき課題は多いと思われます。学校とか家庭とか単独で済む問題ではなく、社会全体で考える問題のように思われます。「おしゃべりサロン「相互塾」」は、ソーシャル・ファミリーへの展開を目指しており、「数学おあそびサロン」が発展し、「数援隊」を設立する計画です。そして、コミュニティ・スクールへの展開も検討します。10月の例会を「教育を考える」の共通の場とし、調布市、調布市教育委員会との協力関係を造り上げられれば、と望んでいます。

「相互塾」これからの予定

	月日	曜日	テーマ(仮題)	語り手(敬称略)
第94回	11月26日	月	アマオーケストラと地域ニュース紙	佐野義也(アートオフィス佐野商会代表)
第95回	12月17日	〃	深大寺城跡 国の史跡指定へ	小野崎満(郷土博物館学芸員)
第96回	1月28日	〃	在宅介護を受ける人の心構え(介護その1)	土屋典子(調布ゆうあい福祉公社)
第97回	2月25日	〃	私のエコライフ~オートキャンプを基に~	佐々木勉(調布パソコンサークル)
第98回	3月31日	〃	子どもたちの未来を考える	照屋洋(公立中学校教諭)

「企画ミーティング」に参加、大歓迎:「相互塾」のテーマの選択をはじめ、様々なサロンづくりについて話合っています。どなたでも出席OKです。調布を住み良い街にするために力を貸してください。会場は総合福祉センターの201会議室(確認お願い)で、午後7時より。開催日は、9月18日(火)、10月16日(火)、11月20日(火)です。何かボランティアでやって見たいと思っている方、新しい人を歓迎します。とにかく出かけて来てみてください。

「数学支援隊(数援隊)」及び「数学おあそびサロン」:調布市の共催を得て「数援隊」を10月に発足を予定しています。9月には市報等でシニアを中心に賛同者を募っています。「数学おあそびサロン」は、9月23日(日)、10月28日(日)を予定しています。「数学おあそびサロン」は中学・高校生で数学を好きになりたい人に応援しています。会場は飛田給の青少年交流館(481-1115)です。また、調布のふたつの中学校で放課後、補習学習に協力しています。他の中学校への展開を、数援隊が中心となって、進めて行きたいと考えています。

おしゃべりサロン「相互塾」、「午後のティーサロン」などの開催案内チラシを置いていただいている場所
各図書館(分館を含む)、総合福祉センター、社会福祉協議会、3公民館、各地域福祉センター、たづくり生涯学習情報コーナー、あくろす3階男女共同参画推進センター、あくろす2階市民活動支援センター、郷土博物館、武者小路実篤記念館、各児童館・学童クラブ、YWCA国領センター、子ども家庭支援センターすこやか、総合体育館、ちょうふだぞう、クッキングハウス、ゆうあい福祉公社

NPO法人 調布まちづくりの会 (新入会歓迎)

〒182-0023 調布市染地3-1-19 八-3-510

TEL & FAX : 0424-88-4022

ホームページ : <http://www.annie.ne.jp/~machikai/>

調布まちづくりの会 は「市民の手でまちづくりを」という思いから、その前身は1996年に発足しました。2000年4月には特定非営利活動法人として、新たにスタートし、「住み続けたい緑につつまれるまち調布」実現のため、調査研究や、提言、情報提供などを行い、だれでもが参加できる開かれた自主活動グループです。会員相互の交流はもとより市民との交流の一環として、シンポジウムやまち歩きなども行っています。

